

## 文献リスト

- 相上 律子, 片山 美穂, & 北岡 和代. (2018). 日本の病院に勤務する看護師の職務満足と就業継続意思との関係. *Journal of Wellness and Health Care*, 41(2), 113-127.
- Belloc, N. B., & Breslow, L. (1972). Relationship of physical health status and health practices. *Preventive Medicine*, 1(3), 409-4021.
- Burley, K. A. (1995). Family variables as mediators of the relationship between work-family conflict and marital adjustment among dual-career men and women. *The journal of social psychology*, 135, 483-497.
- Breslow, L. (1972). The organization of personal health services.
- Carlson, S. D, Kacmer, K.K, and illiams, J. L. (2000). Construction and initial validation of a multidimensional measure of work family conflict. *J Vocat Behav*, 56, 249-276.
- Carter, M. R., & Tourangeau, A.E. (2012). Staying in nursing: what factors determine whether nurses intend to remain employed? *J Adv Nurs*. 68(7), 1589-1600.
- 近末 清美 (2015) . 子育てをしながら病院に勤務する看護職のワーク・ライフ・バランスと職業キャリア成熟との関連性. *日看管理会誌* 19(2), 67-75.
- Chowdhury, R., Shah, D., & Payal, R. A. (2017). Health worker effect phenomenon: Revisited with emphasis on statistical methods-A review. *Indian J Occup Environ Med*. 21(1), 2-8. doi: 10.4103/ijoem.IJOEM 53 16.
- Denise. M. R, Down, C., & Joel K. (2003). Coping with multiple dimensions of work - family conflict. *personnel review*. 32, 275-296.
- 土肥 伊都子, 広沢 俊宗, & 田中 國夫 (1990). 多重な役割従事に関する研究—性役割従事タイプ、達成感と男性性、女性性の効果. *社会心理学研究*. 5, 137-145.
- Dewey John, 1859-1952, Mead George Herbert, 1863-1931, 河村 望(1931-). *精神・自我・社会*. 東京 : 人間の科学社.
- Douglas, T. H. (1972): A model of coping with role conflict. The role behavior of college education women. *Administrative Science Quarterly*, 17(4), 471-486.
- Elaine A.A., & Leigh. L.A. (1991). Coping with Employment and family stress: Employment arrangement and gender differences. *Sex Roles*. 24(3-4), 223-237.

- Furukawa, T., Kawakami, N., Saitoh, M., One, Y., Nakane, Y., et al. (2008). The Performance of the Japanese version of the K6 and K10 in the World Mental Health Survey Japan. *Int J Methods Psychiatr Res*, 17(3), 152-158.
- 福岡 悦子, 谷口 敏代, & 棧 裕子. (2013). 看護職員のワーク・エンゲイジメントと離職意向の関連 職業性ストレスの分析も含めて. *インターナショナル Nursing Care Research*, 12(3), 1-10.
- 福岡 悦子, 谷口 敏代, & 棧 裕子. (2014). 看護職の睡眠の質と離職意向等の要因との検討. *インターナショナル Nursing Care Research*, 13(3), 101-110.
- Geurts, J. H., Taris, T. W., Kompier, M. A. J., Dijkers, J. S. E., Vanhooff, M. L.M., & Kinnunen, U. M. (2005). Work-home interaction from a work psychological perspective: Development and validation of a new questionnaire, the SWING. *Work & Stress*, 19, 319-339. Doi: 10.1080/02678370500410208
- Greenhaus, J. H., & Beutell, N.J. (1985). Sources of conflict between work and family roles. *Academy of Management Review* 10, 76-88.
- グレッグ 美鈴他 (2003) . 臨床看護師のキャリア発達の構造. *岐阜看護大紀*, 3(1), 1-8.
- Handbook of Work-Family Integration: Research, Theory, and Best Practices (2008)/edited by Karen Korabik , Donna S. Lero , Denise L. Whitehead
- 原北 航, 吉岡 真弓, & 酒井 美也子 (2017) . 職業キャリア成熟に焦点を当てた看護実践環境と就業継続意向の関連. *日看会論集: 看護管理*, (47), 70-73.
- 橋本 美穂 (2012) . 「看護師の WLB インデックス調査」の概要とその活用方法. *看護*, 64(11), 40-44.
- 原谷 隆史 (1998) . 第 8 回 NIOSH 職業性ストレス調査票. *産業衛誌*, 40(2), A31-A32.
- 原谷 隆史他 (1999) . NIOSH 職業性ストレス調査票の職種差. *産業衛誌* 41, (臨増), 161.
- 東口 和代他 (1998) . 日本版 MBI (Maslach Burnout Inventory) の作成と因子構造の検討. *日衛誌*, 53(2), 447-455.
- 東口 和代他 (1999) . 臨床看護職者におけるバーンアウトと関連要因の分析. *J Occupat Health*, 41(4), 215-224.
- Holly, C., Salmond, S. W., & Saimbert, M. K. (2011). Comprehensive Systematic Review for Advanced Nursing Practice, New York: Springer.

- 本間千代子 & 中川禮子 (2002) . 看護職における家庭と仕事の両立葛藤 看護職と働く一般女性との比較. *日本赤十字武蔵野短期大学紀要 (15)* , 31-37.
- 橋本 美穂、竹内 祐子、高島 有理子、関根 小乃枝、廣瀬 佐和子(2009). 病院に勤務する看護師のワーク・ライフ・バランス支援の現状把握と今後の推進のための取り組み, *日本労働研究雑誌. 2*, 57-59.
- Herzberg Frederick, 北野 利信(1928- ). *仕事と人間性 : 動機づけ-衛生理論の新展開*. 東京 : 東洋経済新報社.
- Hosmer D.W.Jr., Lemeshow S., & Sturdivant R. X. (2013 / 2017). *データ解析のためのロジスティック回帰モデル*. 宮岡 悦良監訳, 早川 有, 川崎 洋平, & 下川 朝有訳. 東京: 共立出版.
- Hughes, E. C. (1956). Social and the Division of Labor. *The Midwest Sociologist. 18(2)*, 3-7.
- 藤波 美帆(2007). 【WLB-JUKU INDEX】の特徴と活用の仕方. *人事実務, (No.1016)*, 46-50.
- Hurrell, J.J. Jr., & McLaney, A. M. (1988). Exposure to job stress-A new psychometric instrument. *Scand J Work Environment Health, 14(1)*, 27-28
- 市江 和子他 (2015) . 総合病院の看護中間管理者による妊娠から育児期にある臨床看護師への支援に関する研究. *日看研会誌, 38(4)*, 15-24.
- 今井 芳枝他 (2009) . 高齢者看護学におけるオレム看護理論を基盤にした看護過程演習の学習効果と課題, *JNI7(1-2)*, 52-57.
- 井奈波 良一 & 日置 敦巳 (2016) . 女性病院看護師の各種睡眠障害の出現頻度とバーンアウト、ワーク・エンゲイジメント、ワークホリズム、寝酒および睡眠薬服用の関係. *日職災医学会誌, 64(5)*, 260-264.
- 井奈波 良一, 井上 真人, & 日置 敦巳 (2016) . 女性病院看護師のバーンアウトとワーク・ファミリー・コンフリクトの関係. *日職災医学会誌, 64(6)*, 319-325.
- 井奈波 良一 & 日置 敦巳 (2017) . 女性看護師の声を出して笑う頻度とワークホリズム、ワーク・エンゲイジメントおよび出来事の関係. *日職災医学会誌, 65(5)*, 25-259.
- 伊野波 貴子他 (2013) . 早朝診療から見たワークライフバランス. *社医仁愛会医報, 14*, 51-53.

- 井上 美智子 & 山田 覚 (2015) . 看護師の職業継続意志に関する研究 職業継続意志に影響する要因の構造. *高知女大看護会誌*, 41(1), 142-152.
- 井上 都 (2017) . 交代制勤務における多様な勤務形態下で働く看護師の疲労度について 長日勤を中心とした検討. *久留米医学会誌*, 80(6-7), 150-164.
- 石塚 真美 & 三木 明子 (2016) . 病院看護師における仕事の資源・個人資源とワーク・エンゲイジメントとの関連. *日産業看護会誌*, 3(1), 1-7.
- 磯和 勅子 (2004) . 看護師の職務ストレス、バーンアウト及び身体的健康問題の関連 質問紙及び免疫指標からの検討. *行動医研*, 10(1), 25-33.
- 板橋 直人他 (2016) . 精神科看護師の患者に示す感情のあり方と仕事への充実感との関連 看護師の感情労働とワーク・エンゲイジメントに着目して. *看護研究会誌*, 8(1), 15-22.
- 加賀田 聡子他 (2015) . 病棟看護師における感情労働とワーク・エンゲイジメントおよびストレス反応との関連. *行動医研*, 21(2), 83-90.
- Kahn, R. L., Wolfe, D. M., Quinn, R. P., Snoek, J. D., & Rosenthal, R. A. (1964). *Organizational stress: Studies in role conflict and ambiguity*. England: John Wiley.
- 金井 篤子 (2002) . ワーク・ファミリー・コンフリクトの規定因と メンタルヘルスへの影響に関する心理的プロセスの検討. *産業・組織心理学研究*, 15, 107-122.
- 金井 篤子 (2006) . ワーク・ファミリー・コンフリクトの視点からのワーク・ライフ・バランス考察. *季刊家計経済研究*, 29-35
- 金井 篤子 & 若林 満 (1998) . 女性パートタイマーのワーク・ファミリー・コンフリクト. *産業・組織心理学 研究*, 11(2), 107-122
- 金崎 ゆかり & 川崎 登志子, & 岩田 博英 (2012) . 看護師のワーク・ライフ・バランスの実態調査 幼児・学童を持つ看護師が働きやすい職場環境をめざして. *日看護会論集: 看護管理*, (42), 175-178.
- Kato Michiko, & Yamazaki Yoshihiko (2009) . 日本の男女労働者におけるワーク・ファミリー・コンフリクト関連因子の研究. *J Occupat Health*, 51(4), 303-313.
- 加藤 容子 (2002) . 共働き女性のワーク・ファミリー・コンフリクトへの対処—夫婦の関係性の観点から— *経営行動科学*, 16 (2) , 75-87.

- 加藤 容子 & 金井 篤子 (2006) . 共働き家庭における仕事家庭両立葛藤への対処行動の効果. *心理研究*, 77 (6) , 511-518.
- 加藤 容子 & 金井 篤子 (2007) . 共働き夫婦におけるワーク・ファミリー・コンフリクトー「クロスオーバー効果」と「対処行動の媒介・緩衝効果」の吟味ー. *産業・組織心理学研*, 20 (2) , 15-25.
- 加藤 容子 (2008) . 夫婦の関係性がワーク・ファミリー・コンフリクト対処プロセスにおよぼす影響. *相山女学園大学人間関係学研*, 6, 1-18.
- 加藤 容子 (1975-) . ワーク・ファミリー・コンフリクトの対処プロセス = *The coping process of work-family-conflict*. 京都 : ナカニシヤ出版.
- 加藤 容子 (2014) . ワーク・ファミリー・コンフリクト対処行動 (改訂版) の作成. *人間関係学研究*, 13, 71-80.
- 看護職員の労働実態調査「報告書」 : *医療労働*. 東京 : 日本医療労働組合連合会. (2014)
- 川上 憲人 & 原谷 隆史 (1997) . 新しい職業性ストレスの評価法 米国国立職業安全保健研究所(NIOSH)の職業性ストレス調査票について. *ストレス科*, 12(2), 30-31.
- 川村 晴美 & 鈴木 英子 (2014) . 病院に勤務する看護職のワークライフバランスとバーンアウトとの関連. *日看科会誌*, 34, 131-141.
- 川村 晴美 & 鈴木 英子 (2016) . 看護職のワーク・ライフ・バランス尺度の信頼性・妥当性の検証. *日保健福祉会誌*, 22(2), 19-26.
- 岐部 千鶴他 (2017) . 第1子を出産した看護師の就業継続を促す経験に関する研究. *日看会論集: 看管理*, (47), 86-89.
- Kessler, R.C., Andrews, G., Colpe, L.J., Hiripi, E., Mroczek, D.K., Normand, S.L., et al. (2002). Short screening scales to monitor population prevalences and trends in nonspecific psychological distress. *Psychological Medicine*.32, 959-976.
- Kessler RC, Galea, S., Jones, R.T., et al. (2006). Mental illness and suicidality after Hurricane Katrina. *Bull World Health Organ*, 84, 930-939.
- 岐部 千鶴, 原田 千鶴, 宮崎 伊久子, & 大戸 朋子 (2017) . 第1子を出産した看護師の就業継続を促す経験に関する研究. *日本看護学会論文集: 看護管理*, (47), 86-89.
- 北川 良子 (2010) . 助産師の出産・育児と就業継続の関連要因 就業継続状況に焦点をあてて. *日助産会誌*, 24(2), 345-357.

- 北川 良子 (2011). 出産・育児期にある助産師の仕事意欲に影響を及ぼす要因. *母性衛生*, 51(4), 684-693.
- 木谷 宏 (2008). WLB INDEX の概要, *看護*, 10, 70-73.
- 北岡 和代[東口]他 (2004). 精神科看護者のバーンアウトと職場ストレス要因についての検討. *石川看護誌*, 1, 7-12.
- 北岡 和代[東口] (2004). バーンアウトを構成する概念について 日本版 MBI(Maslach Burnout Inventory)の因子構造に関する検証的研究. *日精保健看護会誌*, 13(1), 99-104.
- 駒形 万里絵他 (2019). 離職期間を経て復職した看護職のワークライフバランス実現度と関連する要因. *日本看護学会論文集：看護管理*, (49), 163-166.
- 厚生労働省 (2008) 2008 年 11 月「社会保障国民会議の医療・介護費用シミュレーションの推計結果」  
<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kokuminkaigi/dai6/siryou4.pdf>  
 (2018 年 10 月 20 日)
- 厚生労働省 (2010)「第七次看護職員需給見通しに関する検討会報告書」  
<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000000z68f-img/2r9852000000z6df.pdf>  
 (2018 年 10 月 20 日)
- 厚生労働省 (2011)「看護職員就業状況等実態調査結果」  
<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r98520000017cjh-att/2r98520000017cnt.pdf>  
 (2018 年 10 月 20 日)
- 厚生労働省 (2013)「パートタイム労働法のあらまし」  
<https://www.mhlw.go.jp/topics/2007/06/tp0605-1g.html> (2019 年 7 月 3 日)
- 厚生労働省 (2014) 看護師の需給に関する基礎資料  
<http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10801000-Iseikyoku-Soumuka/0000117665.pdf> (2019 年 7 月 3 日)
- 厚生労働省 (2014) 医療介護総合確保推進法  
[http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12600000-Seisakutoukatsukan/0000038005\\_1\\_2.pdf](http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12600000-Seisakutoukatsukan/0000038005_1_2.pdf) (2019 年 7 月 3 日)

厚生労働省 (2016) 「平成 28 年度 病床機能報告」

<https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10801000-Iseikyoku-Soumuka/0000164336.pdf> (2019 年 9 月 9 日)

厚生労働省 (2017) 「平成 29 年 国民生活基礎調査の概要」

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa17/dl/10.pdf> (2019 年 8 月 30)

厚生労働省統計情報部 (2015) 「2014 年衛生行政報例 (就業医療関係者) の概要」

<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/eisei/14/dl/kekka1.pdf> (2019 年 7 月 3 日)

久保 真人 (2007) . 日本版バーンアウト尺度の因子的、構成概念妥当性の検証. *労働科学*, 83(2), 39-53.

久保 真人 (2014) . サービス業従事者における日本版バーンアウト尺度の因子的、構成概念妥当性. *心理研*, 85(4), 364-372.

久保 真人 & 田尾 雅夫 (1994) . 看護婦におけるバーンアウト ストレスとバーンアウトとの関係. *実験社会心理研*, 34(1), 33-43.

国本 紘子 (1993) . 個人のセルフケア行動に関する研究 オレム看護理論を用いて. *大阪看護大紀*, 15(1), 59-64.

黒沢 明子 (2011) . 米国におけるワーク・ライフ・バランス.

<https://www.rieti.go.jp/jp/publications/dp/11j038.pdf>

栗林 佑季 (2016) . 疾患や治療に対する関心に着目した看護介入によりセルフケア能力が向上した慢性腎疾患児の事例. *日小児PDHD研究会誌*, 28, 51-53.

Krippendorff, K. (1980/1989). *メッセージ分析の技法—「内容分析」への招待—*. 三上 俊治, 橋元 良明, & 椎野 信雄訳. 東京: 勁草書房.

草野 淳子, 高野 政子, & 中垣 紀子 (2014) . 子育て中の看護師の復職プロセスと対策に関する文献的研究 ワーク・ライフ・バランスに着目して. *日看会論集: 看総合*, (44), 232-235.

Richard S. Lazarus (1930-/1990), 林 峻一郎訳. *ストレスとコーピング: ラザルス理論への招待*. 東京: 星和書店.

Lazarus, R., & Folkman, S. (1984). *Stress, appraisal, and coping*. Springer Publishing Company, INC.

- Richard S. Lazarus, & Susan Folkman (1984/1991) , 本明 寛, 織田 正美, 春木 豊  
訳. 他ストレスの心理学 : 認知的評価と対処の研究. 東京 : 実務教育出版.
- Makabe, S., Takagai, J., Asanuma, Y., Ohtomo, K., & Kimura, Y. (2015). Impact of  
work-life imbalance on job satisfaction and quality of life among hospital nurses  
in Japan. *Ind Health*, 53(2), 152-9.
- 丸山 昭子 (2012) . 未就学児の母親である看護師のバーンアウトの関連要因. *日看科会  
誌* 32(2) , 44-53.
- 榎 正和, 土肥 眞奈, & 叶谷 由佳. (2016). 出産・子育て期にある看護職員に病院から  
提供されている支援の現状と就業継続への影響. *日本看護管理学会誌*, 20(1), 49-  
60.
- Maruyama Akiko, Suzuki Eiko, Takayama Yuko (2016) . 未就学児を持つ女性看護師  
のバーンアウトに影響を及ぼす要因. *Jpn J Nurs Sci*, 13(1), 123-134.
- Maslach, C., & Jackson, S. E. (1981). The Measurement of experienced burnout.  
*Journal of Occupational Behaviour*.2,99-113.
- Matsui, T., Ohsawa, T., & Onglatco, M. (1995). Work -Family Conflict and the stress -  
buffering effects of husband support and coping behavior among Japanese married  
working women. *Journal of Vocational Behavioe*, 47,178-192
- 松本 悠貴他 (2015) . バーンアウトおよびワーク・エンゲイジメントの観点から分析し  
たコンビニ受診と医師の疲労との関連性. *日公衛誌*, 62(9), 556-565.
- Merriam, S. B, et al. (1943-). 成人学習理論の新しい動向 : 脳や身体による学習から  
グローバル化まで. 東京 : 福村出版.
- Merton, R. K. (1975). 'The Role Set: Problem in Sociological Theory', *British Journal of  
Sociology*, 8(2), 106-120.
- Mezirow, J. (1923-). *Transformative dimensions of adult learning*. San Francisco :  
Jossey-Bass.
- 三木 明子 & 黒田 梨絵 (2013). 看護職員のストレス反応と離職意向の経時的変化. *日本  
看護学会論文集: 精神看護*, (43), 116-119.
- 宮本 聡介, 宇井 美代子 (1966-). 質問紙調査と心理測定尺度 : 計画から実施・解析ま  
で. 東京 : サイエンス社.



- 水町 育代他 (2008) . 未就学児を持つ看護師の仕事と家庭の両立葛藤 ワーク・ファミリー・コンフリクト尺度を用いた実態調査. *長崎看護会誌*, 5(1), 65-67.
- 水野 有希他 (2008) . 看護職場における職場内のサポート意識とワーク・ライフ・バランスとの関係について. *人間工学*, 44(Suppl), 180-181.
- 本島 茉那美他 (2017) . 既婚女性看護師のワーク・ライフ・バランスの満足感とその関連要因. *日健医学会誌*, 26(1), 7-16.
- 森岡 広美 & 北岡 和代 (2018). メンターが看護師の職場環境、職場ストレス、および就業継続意思におよぼす影響に関する研究. *Journal of Wellness and Health Care*, 41(2), 23-39.
- Nadel Siegfried Frederick (1945). Notes on Beni Amer Society'. *Sudan Notes and Records*, 26, 16-17.
- Nadel Siegfried Frederick(1903-1956), 斎藤 吉雄訳(1926-). *社会構造の理論：役割理論の展開*. 東京：恒星社厚生閣.
- 中道 實(1942- ). *社会調査方法論*. 東京：恒星社厚生閣.
- 中井 正美他 (2011) . 病院に勤務する看護師のワークライフバランスと精神的健康度の関連. *日健教会誌*, 19(4), 302-312.
- 中川 光子他 (2012) . 子育て中の看護師の職業継続に関する要因調査. *長岡赤十字病医誌*, 25(1), 51-60.
- 内閣府 平成 25 年度「家族と地域における子育てに関する意識調査」報告書  
[https://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/research/h25/ishiki/index\\_pdf.html](https://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/research/h25/ishiki/index_pdf.html)  
 (2019 年 7 月 3 日)
- 内閣府「仕事と生活の調和レポート 2016」  
[http://wwwa.cao.go.jp/wlb/government/top/hyouka/report-16/h\\_pdf/gaiyou.pdf](http://wwwa.cao.go.jp/wlb/government/top/hyouka/report-16/h_pdf/gaiyou.pdf)
- 内閣府「仕事と生活の調和推進のための行動指針」  
[http://wwwa.cao.go.jp/WLB/government/20barrier\\_html/20html/indicator.html](http://wwwa.cao.go.jp/WLB/government/20barrier_html/20html/indicator.html)
- 内閣府男女共同参画局「男女共同参画白書平成 25 年版」  
[http://www.gender.go.jp/about\\_danjo/whitepaper/h25/zentai/html/zuhyo/zuhyo01-00-10.html](http://www.gender.go.jp/about_danjo/whitepaper/h25/zentai/html/zuhyo/zuhyo01-00-10.html) (2019 年 8 月 30 日)
- 中野 宏恵 & 内布 敦子 (2017) . がん症状マネジメントにおける患者のセルフケアレベル判定基準の検討. *兵庫県大看護地域ケア開発研紀*, 24, 139-150.

- 中村 史江他 (2018)．看護職のワーク・ライフ・バランス推進に関する研究(第1報) 中規模病院に勤務する看護職の仕事と生活の調和と自己教育力との関連. *日看会論集：看管理*, (48), 189-192.
- 中村 真由美 & 吉岡 伸一 (2016)．大学病院に勤務する看護職員のワーク・エンゲイジメントに影響する要因. *米子医誌*, 67(1-2), 17-28.
- 中島 由紀子, 羽田野 花美, & 末永 芳子 (2016)．育児期の母親の幸福感および育児感情と就業状況との関連. *保健科研誌*, (13), 61-67.
- 中山 和宏 (2017)．看護学のための多変量解析入門, 東京：医学書院.
- Naruse Takashi, Sakai Mahiro, Nagata Satoko (2016)．訪問看護師間におけるワーク・エンゲイジメントにおよぼす同僚間の協力関係と管理範囲の効果. *Jpn J Nurs Sci*13(2), 240-246.
- Naruse Takashi 他 (2013)．日本の訪問看護師におけるワーク・エンゲイジメントに関する個人・組織要因. *Jpn J Nurs Sci*, 10(2), 267-272.
- 日本語版 努力－報酬不均衡モデル調査票  
<https://mental.m.u-tokyo.ac.jp/jstress/ERI/chosahyo.htm> (2019年7月3日)
- 日本看護協会 (2018)「2017年病院看護実態調査」  
[http://www.nurse.or.jp/up\\_pdf/20180502103904\\_f.pdf](http://www.nurse.or.jp/up_pdf/20180502103904_f.pdf) (2019年7月3日)
- 日本看護協会 (2015)「2014年病院における看護職員需給状況調査」速報  
[http://www.nurse.or.jp/up\\_pdf/20150331145508\\_f.pdf](http://www.nurse.or.jp/up_pdf/20150331145508_f.pdf) (2018年10月20日)
- 日本看護協会 (2012)「2011年看護職員実態調査」  
<https://www.nurse.or.jp/home/publication/research/pdf/85.pdf> (2018年10月20日)
- 日本看護協会 (2010)「2009年看護職員実態調査」  
<https://www.nurse.or.jp/home/publication/research/pdf/83.pdf> (2018年10月20日)
- 日本看護協会 (2008)「2008年時間外労働、夜勤・交代制勤務等緊急実態調査」  
[https://www.nurse.or.jp/nursing/shuroanzen/jikan/pdf/02\\_05\\_09.pdf](https://www.nurse.or.jp/nursing/shuroanzen/jikan/pdf/02_05_09.pdf) (2019年7月3日)
- 日本看護協会「看護師のワーク・ライフ・バランス (WLB) インデックス調査」  
<https://www.nurse.or.jp/WLB/WLBindex/index.php> (2018年10月20日)

- Nishi Daisuke 他 (2016) . 東日本大地震後の医療従事者におけるレジリエンス、心的外傷後成長、ワーク・エンゲイジメント 4 年間のプロスペクティブ追跡調査. *J Occupat Health, 58(4)*, 347-353
- Nishi Daisuke 他 (2017) . ワーク・エンゲイジメントに対する情報源としての個人のライフスタイル. *J Occupat Health, 59(1)*, 17-23.
- 西村 淳子 & 太田 勝正 (2014). 子どもを養育している看護師の育児支援制度と施設整備に対する認識と利用状況 a 県における調査. *日本看護研究学会雑誌*, 37(5), 73-82.
- Netemeyer, R. G., J. S. Boles, and R. McMurrian (1996). Development and Validation of Work-family Conflict Scales. *Journal of Applied Psychology* 81 (4) , 400-410.
- 小畑 周介 & 森下 高治 (2014) . 年代別にみる働く目的と職業性ストレス及びワーク・エンゲイジメントの研究. *帝塚山大心理紀*, (3), 19-29.
- 岡本 安晴 *計量心理学：心の科学的表現をめざして*. 東京：培風館.
- 荻野 佳代子 (2012). 看護職のワーク・ライフ・バランス風土に関する研究. *神奈川大学人間学研究年報* 6. 5 - 14
- 小野寺 杜紀 (1989) . オレム看護理論を読む(2) セルフケア理論とセルフケア不足理論. *看護誌*, 53(1), 80-81.
- 大原 賢了他 (2012) . 就労女性の妊娠判明後の退職行動規定要因に関する疫学研究. *産業衛誌*, 54(2), 61-70.
- 大橋 裕子他 (2010). 病院看護師の疲労に影響を及ぼす要因の検討, *日本看護医療学会雑誌 J. Jpn. Soc. Nurs. Health Care*, 12(1), 20-29.
- 奥川 郁他 (2015) . 女性医師が就業を継続していくための提言 「女性医師の就業とキャリアのためのアンケート」 集計結果から見えてきた現状と就業継続のために今から必要なこと. *滋賀医大誌*, 28(1), 9-12.
- 大川 百合子 & 長友 みゆき (2009). a 県看護師の就業継続の意思とキャリアアップに関する調査. *南九州看護研究誌*, 7(1), 1-8.
- Ohue, T., Moriyama, M., & Nakaya, T. (2011). 日本人看護師のストレス、燃え尽き、離職意向の認知モデルの検討. *Japan Journal of Nursing Science*, 8(1), 76-86.
- Rovik, J. O., 他 (2007). 仕事と家庭の両立の問題に重点を置いた若い医師の仕事上のストレス その過程と予測因子に関する 9 年間の全国縦断研究. *Ind.Health; Ind.Health*, 45(5), 662-671.

- 岡田 なぎさ, 中田 光紀, 中野 正博, 酒井 久美子, 鷹居 樹八子, 児玉 裕美, & 小林 敏生 (2018). 妻または母親役割を持つ看護師の精神健康度に関連する要因およびストレス対処能力 結婚、出産、育児による離職経験の有無別の検討. *産業医科大学雑誌*, 40(1), 53-63.
- 岡本 絹子 (2006). 育児中の母親の生活状況と抑うつ状態 保育園児をもつ母親の分析. *インターナショナル Nurs Care Res*, 5(1), 21-28.
- Oster, K. A., & Scannell, E. D. (1999). Change in role perception, role conflict, and health of working mothers. *Psycho Rep*, 84, 221-230.
- Paden, S. L., & Buehler, C. (1995). Coping with the dual income lifestyle. *Journal of marriage and the family*, 57, 101-110.
- Robert.F.D.(2011). *Scale Development, 3<sup>rd</sup> ed.*, California: SAGE Publication.
- Saijo, Y., Yoshioka, E., Kawanishi, Y., Nakagi, Y., Itho, T., & Yoshida, T. (2016). Relations of job demands, job control, and social support on intention to leave and depressive syndromes in Japan nurses. *Industrial Health*, 54, 32-41.
- 齋藤 千秋 (2016). 女性看護師が働き続けられる職場の条件 労働時間を中心に. *地域と住民*(34), 57-66.
- 佐倉 幸子 (2013). 子育て中の女性常勤看護師が働き続けられる職場環境の要因. *神奈川保健福大看護教研録*(38), 251-258.
- 櫻井 育穂他 (2016). 小児医療施設におけるオレムセルフケア不足理論の看護過程への活用状況. *日小児看護会誌*, 25(3), 17-23.
- Sang-Sook, H. A. N., Jeong-Won, H.A.N., Young-Suk, A. N., & So-Hee, L.I.M. (2015). Effect of role stress on nurses' turnover intentions: The mediating effects of organizational commitment and burnout. *Japan Journal of Nursing Science*, 12, 287-296.
- 佐々木 純子, 難波 峰子, & 二宮 一枝 (2015). 訪問看護ステーション管理者の職務継続意向モデルの検討. *日地域看護会誌*, 18(2-3), 4-12.
- 佐々木 純子, 難波 峰子, & 二宮 一枝 (2015). 訪問看護ステーション管理者のワーク・エンゲイジメントとその関連要因. *岡山県立大保健福祉紀*, 21, 35-43.
- 佐藤 孝子他 (2012). 大学病院看護師のワーク・ライフ・バランスと関連要因の分析. *日看護会論集: 看護管理*, (42), 197-199.

- 佐藤 百合 & 三木 明子 (2014) . 病院看護師における仕事のストレス要因、コーピング特性、社会的支援がワーク・エンゲイジメントに及ぼす影響 経験年数別の比較. *労働科学*, 90(1), 14-25.
- Schaufeli, W. B., Salanova, M., Gonzalez-Roma, V., et al. (2002). The measurement of engagement and burnout: A two sample confirmative analytic approach. *Journal of Happiness Studies*3, 71-92.
- Schein, E. H. (1978/1991). *キャリア・ダイナミクス*, 二村 敏子,& 三善 勝代訳. 東京 : 白桃書房.
- Seto, M., Morimoto, K., Maruyama, S. (2004). Effects of work-related factors and work-family conflict on depression among Japanese working woman living with young children. *Environmental Health and Preventive Medicine*. 9, 220-227.
- 柴田 明美他 (2016) . 女性看護師が就業を継続している理由と今後の就業継続に必要なこと. *京都府医大看紀*, 26, 1-11.
- 島田 恭子 & 島津 明人 (2012) . ワーク・ライフ・バランスのポジティブ・スピルオーバーと精神的健康. *産業精保健* 20(3), 271-275. 引用文献
- Shimada, K., Shimazu, A., Geurts, S. A. E.,& Kawamami,N.(2018).Relibility and validity of the Japanese version of the Survey Work-Home Interaction-NijmeGen, the SWING-J(SWING-J)Community, *Work & Family*, doi:10.1080/13668803.2018.1471588
- 島津 明人他 (2007) . ユトレヒト・ワーク・エンゲイジメント尺度日本語版(UWES-J)の信頼性・妥当性の検討. *産業衛誌*(80回 CD-ROM 抄録集), P3044.
- Shimazu, A., Schaufeli, W. B., Kosugi, S., et al(2008).Work Engagement in Japan: validation of the Japanese version of the Utrecht work engagement scale. *Psychology an International Review*57(3),510-523.
- 島津 明人 (2015) . ワーク・エンゲイジメントに注目した個人と組織の活性化. *日職災医学会誌*63(4), 205-209.
- 下條 祐也, 朝倉 京子 (2016) . 両立支援的組織文化が職務満足度、組織コミットメント及び職業継続意思に及ぼす影響 妻/母親役割を担う看護職を対象とした分析. *日看科会誌*36, 51-59.

- Furukawa, T.A., Kessler, R. C., Slatore, T., & Andrews, G. (2003). The performance of the K6 and K10 screening scale for psychological distress in Australian National survey of mental health and well-being. *Psychological medicine*, 33(2), 357-362.
- Strauss Anselm L., & 片桐 雅隆 (1948-) 鏡と仮面: アイデンティティの社会心理学. 京都 : 世界思想社.
- Super, D. E., Savickas, M.L., & Super, C. M. (1996). The life-span, life-space approach to careers, In D. Brown, L. Brooks & Associates (Eds.). *Career choice and development (3<sup>rd</sup> Ed.)*, 121-178, San Francisco: Jossey-Bass.
- Super D E (1980). A life-span, life-space approach to career development. *Journal of vocational Behavior*, 16(3), 282-298.
- 鈴木 淳子 (1952-) 質問紙デザインの技法. 京都 : ナカニシヤ出版.
- 鈴木 康宏 (2017) . 男性看護師と女性看護師のワーク・ファミリー・コンフリクトの比較. *日健医学会誌*, 26(2), 86-92.
- 鈴木 康宏 & 土井 徹 (2015) . 未就学児の子どもがいる女性看護師のワーク・ファミリー・コンフリクト 未就学児の子どもがいる一般就労女性との比較を通して. *日健医学会誌*, 24(2), 114-129.
- 鈴木 由美 & 小川 久貴子. (2018). 助産師の就業継続に影響する要因についての文献的考察. *国際医療福祉大学学会誌*, 23(1), 74-88.
- 鈴木 由美 & 小川 久貴子 (2019) . キャリア充実期の助産師における就業継続意思. *日母子看護会誌*, 12(2), 43-53.
- 高見 彩那 & 金子 さゆり (2015) . 未就学児を持つ看護師の子育て支援の現状と満足度. *名古屋市大看紀*, 14, 61-69.
- 高野 真由美, 福永 ひとみ, & 橘 達枝 (2013). 社会人経験を有する卒後2年目看護師の就労継続に関連する要因. *川崎看護大紀*, 18(1), 33-42.
- 高山 裕子, 鈴木 英子 (2018) . 子育て中の女性看護師のバーンアウトに関する研究の動向. *国際医療福大会誌*, 23(1), 52-61.
- 高田 勲. (1999). 産業医活動情報 ILO/WHO の「労働衛生(occupational health)」の新しい定義(1995年4月)の解説. *産業医学ジャーナル*, 22(2), 10-15.
- Takayama Yuko 他 (2017) . 3歳未満の子どもをもつ日本人女性看護師のバーンアウトに関連する因子. *Jpn J Nurs Sci*, 14(3), 240-254.

- 武石 恵美子 (2007). ワーク・ライフ・バランス施策と従業員のモチベーション. *電機総研*, 11-39
- 田邊 智美 & 岡村 仁 (2011). 看護師の離職意向に関連する要因の検討—緩和ケア病棟における調査結果をもとに—. *Palliative Care Research*, 6(1), 126-132.
- 丹澤 洋子他 (2017). 看護職を離職した者が再就職をし職務を継続している要因. *東海大短大紀*, (50), 17-24.
- The work and family handbook: multi-disciplinary perspectives, methods, and approaches (2006) / edited by Marcie Pitt-Catsoupes, Ellen Ernst Kossek, Stephen Sweet. London: Routledge.
- Thomas, A., Wills, D. B., & O'Conner, L. S. (2008). Investigating effort-reward imbalance and work-family conflict in relation to morningness - eveningness and shift work: *An International Journal of Work, Health & Organisations*, 22,125-137.
- Thomas, L. T., & Ganster, D.C. (1995). Impact of Family-supportive Work Variables on Work-family Conflict and Strain: A Control Perspective, *Journal of Applied Psychology*, 80(5), 6-15.
- 時實 亮, & 谷口 敏代 (2017). 介護福祉職のワーク・エンゲイジメントに関する文献検討. *介護福祉学*, 23(2), 161-166.
- 時實 亮他 (2016). 介護福祉士の職場特性と個人要因とワーク・エンゲイジメントとの関連. *厚生指標*, 63(12), 7-13.
- Tominaga TM.(2013). Factor related to the intention to leave and the decision to resign among newly graduate nurses: a complete survey in a selected prefecture in Japan. *Environ Health Prev Med*, 18,293-305.
- Tominaga, T. M., Fujimura, K. (2009). A cross sectional study of factors associated with intention to leave among newly graduate nurses in eight advanced treatment hospitals: job stress, job readiness, and subjective health status. *日本公衆衛生雑誌*, 56,301-311
- Toyosato, T., Nakada, T., & Koja, Y. (2016). 沖縄県の看護師におけるワーク・ファミリー・コンフリクトと心理的ストレスとの関連に対する管理者および同僚による支援の緩和効果. *琉球医学会誌*, 35(1-4), 41-50.

- Tutumi, A., Ishitake, T., Peter, R., Siegrist, J., & Matoba T. (2001). The Japanese version of the Effort Reward Imbalance Questionnaire a study in dental technicians. *Work & Stress, 15*(1), 86-96.
- Tsutsumi, A., Kawanami, S., & Horie, S. (2012). Effort-reward imbalance and depression among private practice physicians. *International Archives of Occupational and Environmental Health, 85* (2), 153–161.
- 宇佐美 しおり (2016) . 行動化を有する患者への精神看護 CNS の介入技法と治療的要因セルフケアモデルに PAS 理論を用いて, *日本 CNS 看護学会誌* 2, 5-12.
- 渡井 いずみ, 錦戸 典子, & 村嶋 幸代 (2006) . ワーク・ファミリー・コンフリクト尺度(Work-Family Conflict Scale:WFCS) 日本語版の開発と検討. *産業衛誌*, 48 (3), 71-81.
- Wagnild, G., Young, H. M. (1990). Resilience among older women. 22,252-255.
- ワーク・ライフ・バランス塾、学習院大学経済経営研究所「WLB 実現に向けての指標の開発と活用」(WLB-UKU INDEX)  
<http://www.gender.go.jp/kaigi/senmon/WLB/siryo/pdf/WLB04-1-1.pdf> (2018 年 10 月 20 日)
- 渡邊 真美 & 生野 繁子 (2016). a 県訪問看護師のワーク・エンゲイジメントと就業継続意思との関係の検討. *日本看護学会論文集：看護管理*, (46), 207-210.
- 渡辺 美枝子編(2007). *新版 キャリアの心理学 キャリア支援への発達のアプローチ*, ナカニシヤ書店, 京都.
- Watanabe, S., Takahashi, K., & Minami, T. (1997). The emerging role of diversity and work-family values in a global context. *New perspectives on international industrial/organizational psychology*. 276-318.
- William Bridges (2014) . *Transitions: Making Sense of Life's Changes*. Massachusetts: Da Capo Press.
- 山田 桜子, 伊東 美佐江, 掛田 崇寛, & 佐藤 友美 (2017). 中小規模の病院に勤務する看護師の基本属性とライフスタイルおよび離職意向の関連. *厚生指標*, 64 (7), 21-26.
- 山口 拓洋 (2013). 脳卒中研究に必要な ABC③交絡とその調整. *分子脳血管病*, 12 (3), 75-78.



- 山口 拓洋(2014)．脳卒中研究に必要なABC⑤ロジスティック回帰分析．*分子脳血管病*, 13(1) , 93-96.
- 山川 信子 (2012) ．【成長と自律を促す中堅看護師サポート体制とは】 (3 章)調査研究/考察 WLB の観点からキャリア開発支援を考える．*看護*64(7) , 27-33.
- 山崎 彩香他 (2017) ．看護スタッフが必要としている支援と看護師長が提供している支援．*日医療病管理会誌* 54(4) , 223-230.
- 山崎 恭子, 大屋 晴子, & 福田 英子 (2015) ．乳幼児を養育する父親と母親のワーク・ファミリー・コンフリクトと職業性ストレスとの関連．*お茶の水医誌* 63(1) , 81-89.
- 柳坂 恒夫 (1999) ．成人キャリア成熟度尺度 (ACMS) の信頼性と妥当性の検討．*愛知教育大学研究報告*, 48, 115-122.
- Yeshambel, T. N., & JianLi, W. (2008). The combined effects of job demand and control, effort-reward imbalance and work-family conflicts on the risk of major depressive episode: a 4-year longitudinal study. *Occupational and environmental medicine*, 75(1), 16-11